

青森県 高校入試情報

令和7年度青森県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問は5問、小問数は昨年より5問減って28問。
- 大問1は小問集合、大問2は作図、多項式の利用、大問3は相似と三平方の定理、三平方の定理と空間図形、大問4は関数、大問5は三平方の定理を使う総合問題。
- 大問3(1)の相似の証明問題は全文記述式であった(例年は穴うめ式)。
- 思考力や情報処理能力が問われる大問5は、(1)は間違いの説明、(2)は(1)の問題を生徒が改題したという設定の問題(会話文)。
- 大問1の基本的な小問集合で43点が配点されているので、確実に得点しよう。

★青森県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p.186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

■ 読解力・表現力をみる問題の出題

・問題文をしっかりと読みとり、理由や考え方を説明する必要がある、読解力・表現力をみる問題がよく出題されている。落ち着いて取り組めるよう、解答形式に慣れておく必要がある。

新研究で対策！

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p.172～173)、「書くことに慣れよう！いろいろな記述問題」(p.174～175)で、様々なパターンに取り組むことができます。

基本的な内容をおさえていれば解ける問題が多く出題されているので、くり返し練習しよう。



★青森県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	●
	方程式		●		
	比例と反比例	●			●
	平面図形	●	●		●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用		●	●	●
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●	●	●	●
	三角形	●	●	●	●
	平行四辺形	●	●	●	
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●		
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●		●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形		●	●	●
	円の性質	●		●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	29	33	33	28
	記述問題				1
				1	2
		1			
		1	1		1

★新研究で出題した青森県の入試問題(令和7年度)

p.13大問5(4),p.19大問4(2),p.57大問1(1),p.91大問5(1)